

学校評価

I V Y大分高度コンピュータ専門学校

開催年月日： 令和7年5月30日

委員：

所属	種別
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 凍田 和美	有識者（業界団体）
国立大学法人 大分大学 助教 大城 英裕	有識者（学術関係）
株式会社ザイナス ビジネスクリエーション事業部マネージャー 後藤 雅明	企業委員
株式会社アーネット取締役事務部長 三浦 勉	企業委員
アンプリファイ 代表 新名 康行	企業委員・卒業生

【令和6年度 学校関係者評価】

学校関係者評価委員まとめ

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(1) 教育理念・目標	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> 社会・業界のニーズに合っていると思う 学生ひとりひとり意向を引き出すための度量の広い校風は、理念と合致していると感じる 毎年、現在のIT活用・開発現場での状況を理解し、その内容をカリキュラムに反映させることに注力し、結果、企業が求める人材像にマッチさせることができている 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい技術にも対応し、安心・安全な社会を構築するための教育にも力を入れて欲しい 「人間力の育成」に対して、社会のニーズは非常に高まっていると感じる 一歩踏み込んだ具体的な目標に期待する このまま進めていただけてよいかと思います
(2) 学校運営	3.7	適切	<ul style="list-style-type: none"> 他の学校では得られない、専門的な技術を学ぶ環境が着実に整っているように感じる 適切な運用だと思う 少子化がじわりじわりと進んでいく中、なんとか生徒を確保し、学校運営をすすめている 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化にさらに努力して欲しい 少子化の伴い学生数の減少は、学校間の競争が激化することが予想される 学校の独自性や魅力を更に高める必要があると思う 生徒確保の状況が苦しいのがわかっている中、どのように対応するか、戦略的に動いていただければと思う

(3) 教育活動	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年、社会的に利用されているIT技術についてカリキュラムを変更し、適切な教育活動を行なっている • 安定した就職率の維持、高い資格取得率は、専門学校に求められる社会的ニーズを満たしている • 教育理念の評価と同様、素晴らしいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> • 更なる活性化教育活動を行なって欲しい • 多様な価値観が認められる現在社会において、学生のコミュニケーション能力を高める取組はもっと必要と思う • 学校での教育での時間を結構取ってくれているが、インターンでの協力などにも努力し、卒業生が就職後のイメージがわくようにしていただければとも思います
(4) 学修成果	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 学生それぞれの特性が生かされた就職を熱心に取り組んでいる • 学生の特性を活かした就職先の確保を、教職員全員で熱心に取り組んでいると感じる • 卒業生の就職率などみれば成果は出ていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業後の活動の把握にさらに努力して欲しい • 就職後の定着率の低下は、社会的な大きな問題となっており、学生自身が自分のキャリア形成を深く考える機会を更に増やす必要がある • 卒業後の調査も実施していただき、2, 3年後の離職率や離職後の業態変更などの状況も見ていただければと思います
(5) 学生支援	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 個別に適正に支援ができています • 就職率の高さから学生支援はしっかりなされていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> • 修学意欲の低い学生への指導は大変だが、これこそ教育の重要性であるためお願いしたい
(6) 教育環境	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 地元のIT企業より講師を招き、現場に近い立場の人間が教育を行う科目も用意し、実学の機会が大いに提供されている • 地元のIT企業より講師を招き、教育に力を入れているのがよくわかる。先生も新しく雇用し、良質な教育環境を与えられていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> • インターンシップ実施の更なる体制強化が必要だと思う • 講師派遣の企業がもう数社増えるとよくなるような気がします
(7) 学生の受入れ募集	3.5	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 積極的に早い時期から定期的な体験入学やオープンキャンパスは、入学希望者とのミスマッチを減らしていると思う • 定期的な体験入学やオープンキャンパスは、入学者の早期獲得に繋がっている • ちょっと予定欠員がでてくるのではないかと思います 	<ul style="list-style-type: none"> • 18歳人口の更なる減少に対し、更なるアピールに対応して欲しい • 学べる事、をアピールもよいのですが、卒業後のイメージを持ってもらい、学生にきていただくように動かれるのがよいかと思います

(8) 財務	3.7	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適性に行われている 財務諸表をみてないので不明なところです 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
(9) 法令等の遵守	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運用だと思う 問題なく実施されていると思います 	<ul style="list-style-type: none"> 学生さんを対象として法令順守の考え方を生活指導にて実施していただければと思います。ITは情報を扱うお仕事ですから、その取り扱いには十分注意が必要なことを理解していただく必要があります
(10) 社会貢献・地域貢献	3.7	適切	<ul style="list-style-type: none"> 学生が市民向けに行なう講座の補助を積極的に行っており、適切と考える ITでの地域貢献について昨年、おととしより縮小しているように思える。また、学校まわりの清掃活動などされているのであればもっとアピールしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 学園が持つ教育的資源を地域社会にフィードバックするよう検討を行って欲しい（市民講座の開催など） ITでの地域貢献について昨年、おととしより縮小しているように思える。また、学校まわりの清掃活動などされているのであればもっとアピールしてほしい
(11) 国際交流	—	—	—	—

<平均> 3.8